

平成29年第4回嬉野市議会定例会会議録

招 集 年 月 日	平成29年12月1日					
招 集 場 所	嬉野市議会議場					
開 閉 会 日 時 及 び 宣 告	開会	平成29年12月1日 午前10時00分			議 長 田 口 好 秋	
	散会	平成29年12月1日 午前10時42分			議 長 田 口 好 秋	
応（不応）招 議員及び出席 並びに欠席議員	議席 番号	氏 名	出欠	議席 番号	氏 名	出欠
	1番	生 田 健 児	出	10番	山 口 政 人	出
	2番	宮 崎 良 平	出	11番	芦 塚 典 子	出
	3番	川 内 聖 二	出	12番	大 島 恒 典	出
	4番	増 田 朝 子	出	13番	梶 原 睦 也	出
	5番	森 田 明 彦	出	14番	田 中 政 司	出
	6番	辻 浩 一	出	15番	織 田 菊 男	欠
	7番	山 口 忠 孝	出	16番	西 村 信 夫	出
	8番	田 中 平 一 郎	出	17番	山 口 要	出
	9番	山 下 芳 郎	出	18番	田 口 好 秋	出

地方自治法 第121条の規定 により説明の ため議会に出席 した者の職氏名	市長	谷口 太郎	子育て支援課長	
	副市長	中島 庸二	市民協働推進課長	筒井 八重美
	教育長	杉崎 士郎	文化・スポーツ振興課長	
	総務企画部長	辻 明弘	福祉課長	染川 健志
	市民福祉部長	中野 哲也	農林課長	横田 泰次
	産業建設部長	宮崎 康郎	うれしの温泉観光課長	井上 元昭
	教育部長 教育総務課長兼務	大島 洋二郎	うれしの茶振興課長	宮田 誠吾
	会計管理者 会計課長兼務	池田 秋弘	建設・新幹線課長	早瀬 宏範
	総務課長 選挙管理委員会事務局長兼務	永江 松吾	環境下水道課長	副島 昌彦
	財政課長	三根 竹久	水道課長	
	企画政策課長	池田 幸一	学校教育課長	
	税務収納課長	小國 純治	監査委員事務局長	
	市民課長		農業委員会事務局長	
	健康づくり課長	諸井 和広		
本会議に職務 のため出席した 者の職氏名	議会事務局長	田中 秀則		

平成29年第4回嬉野市議会定例会議事日程

平成29年12月1日（金）

本会議第1日目

午前10時 開 議

- 日程第1 会議録署名議員の指名
- 日程第2 会期の決定
- 日程第3 諸般の報告
- 報告第9号 専決処分（第6号）の報告について
- 報告第10号 専決処分（第7号）の報告について
- 報告第11号 専決処分（第8号）の報告について
- 報告第12号 議決事件に該当しない契約の報告について
- 日程第4 議案第66号 嬉野市うれしの茶交流館条例について
- 日程第5 議案第67号 嬉野市農業委員会の委員及び農地利用最適化推進委員の定数に関する条例について
- 日程第6 議案第68号 嬉野市営住宅条例の一部を改正する条例について
- 日程第7 議案第69号 嬉野市営キャンプ場条例の一部を改正する条例について
- 日程第8 議案第70号 嬉野市議会議員の議員報酬、期末手当及び費用弁償支給条例の一部を改正する条例について
- 日程第9 議案第71号 嬉野市長等の給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例について
- 日程第10 議案第72号 嬉野市職員の給与に関する条例及び嬉野市一般職の任期付職員の採用及び給与の特例に関する条例の一部を改正する条例について
- 日程第11 議案第73号 指定管理者の指定について（嬉野市嬉野老人福祉センター）
- 日程第12 議案第74号 指定管理者の指定について（嬉野市いきいきデイサービスセンター「湯っくら一と」）
- 日程第13 議案第75号 指定管理者の指定について（嬉野市志田焼の里博物館）
- 日程第14 議案第76号 平成29年度嬉野市一般会計補正予算（第4号）
- 日程第15 議案第77号 平成29年度嬉野市国民健康保険特別会計補正予算（第4号）
- 日程第16 議案第78号 平成29年度嬉野市後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）
- 日程第17 議案第79号 平成29年度嬉野市農業集落排水特別会計補正予算（第2号）
- 日程第18 議案第80号 平成29年度嬉野都市計画下水道事業嬉野市公共下水道事業費特別会計補正予算（第2号）
- 日程第19 議案第81号 平成29年度嬉野市浄化槽特別会計補正予算（第1号）
- 日程第20 議案第82号 平成29年度嬉野市嬉野都市計画事業嬉野第七土地区画整理事業費

特別会計補正予算（第1号）

- 日程第21 議案第83号 平成29年度嬉野市嬉野都市計画事業嬉野第八土地区画整理事業費特別会計補正予算（第1号）
- 日程第22 議案第84号 平成29年度嬉野市嬉野都市計画事業嬉野温泉駅周辺土地区画整理事業費特別会計補正予算（第3号）
- 日程第23 議案第85号 平成29年度嬉野市水道事業会計補正予算（第2号）
- 日程第24 議案第86号 建設工事請負契約の締結について
- 日程第25 議案第87号 建設工事請負契約の締結について
- 日程第26 議案第88号 建設工事請負契約の締結について
- 日程第27 議案第89号 嬉野市農業委員会の委員の認定農業者過半要件の例外規定適用について
- 日程第28 委員長報告
- 文教福祉常任委員会 民生委員問題について
- 産業建設常任委員会 道路整備に関することについて

午前10時 開会

○議長（田口好秋君）

皆さんおはようございます。本日は、平成29年12月定例会市議会に御出席をいただきまして、まことに御苦労さまでございます。御承知のように、議員にとりまして4年間の最後の定例会でございます。どうか最終日までよろしくお願い申し上げます。

本日は、織田菊男議員が欠席であります。定足数に達しておりますので、ただいまから平成29年第4回嬉野市議会定例会を開会いたします。

今議会の議会運営につきましては、11月29日に議会運営委員会を開催していただきましたので、その結果について報告を求めます。田中政司議会運営委員長。

○議会運営委員長（田中政司君）

皆様、改めましておはようございます。それでは、私のほうから先般の議会運営委員会の報告を行いたいと思います。

去る11月29日に議会運営委員会を開催いたしまして、今定例会の議会運営に関し協議を行ったところであります。

ただいまより会期日程案について御報告を申し上げます。

お手元に配付の平成29年第4回嬉野市議会定例会会期日程案をごらんいただきたいと思います。

会期につきましては、本日12月1日から12月15日までの15日間であります。

まず、12月1日、本日、開会、会議録署名議員の指名、会期の決定、諸般の報告、議案の一括上程、提案理由の説明、委員長報告、本会議終了後、執行部より議案の詳細説明を受ける合同常任委員会というふうになっております。

12月2日、休会、12月3日、休会。

12月4日、常任委員会、12月5日、常任委員会。

12月6日、休会。

12月7日から一般質問5名、12月8日、一般質問5名。

12月9日、休会、12月10日、休会となっております、12月11日、一般質問3名。

なお、一般質問につきましては、今定例会には13名の議員から通告がっておりますので、先ほど申しましたとおり、7日に5名、8日に5名、11日に3名の配分で行いたいというふうに考えております。

なお、一般質問の開議時刻につきましては、9時30分からということで予定をしております。

12月12日、休会。

12月13日、議案質疑、12月14日、議案質疑。

議案質疑につきましては、12月13日から12月14日までの2日間を予定いたしているところであります。

そして、12月15日、討論、採決、閉会としたいと思います。

以上、今定例会の会期日程案について御報告をいたします。

○議長（田口好秋君）

議会運営につきましては、ただいま委員長から報告のあったとおりであります。質疑ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

質疑なしと認めます。これで議会運営についての報告を終わります。

それでは、直ちに本日の会議を開きます。

本日の議事日程につきましては、お手元に配付のとおりであります。

日程第1．会議録署名議員の指名を行います。

嬉野市議会会議規則第85条の規定により、会議録署名議員に16番西村信夫議員、17番山口要議員、1番生田健児議員を今会期中指名いたします。

日程第2．嬉野市議会会議規則第4条の規定により、会期の決定を議題といたします。

お諮りします。本定例会の会期は、本日から12月15日までの15日間にしたいと思います。これに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

異議なしと認めます。会期は本日から12月15日までの15日間に決定いたしました。

なお、会期中の会議予定につきましては、お手元に配付しております会期日程のとおりでありますので、御了承をお願いいたします。

日程第3．諸般の報告を行います。

本日まで提出されました平成29年陳情第5号から陳情第8号につきましては、お手元に配付しております陳情文書表のとおりです。

次に、平成29年11月20日に、東京において地方自治法施行70周年記念式典が開催され、私が出席をいたしました。この中で、地方自治の充実発展に寄与した団体表彰として嬉野市が名誉ある賞に浴されました。

次に、報告第9号、専決処分（第6号）の報告についてから報告第12号、議決事件に該当しない契約の報告についてまでの4件の報告につきましては、お手元に配付しておりますので、それをもって報告といたします。

これで諸般の報告を終わります。

日程第4．議案第66号 嬉野市うれしの茶交流館条例についてから、日程第27．議案第89号 嬉野市農業委員会の委員の認定農業者過半要件の例外規定適用についてまでを一括して議題といたします。

朗読を省略いたしまして、提案理由の説明を求めます。市長。

○市長（谷口太一郎君）

皆様おはようございます。ただいま平成29年第4回嬉野市議会が開会になりました。会期中、真摯に努力をいたしたいと思っておりますので、どうかよろしくお願い申し上げます。

それでは、今回、議会に提案いたしました提案理由について御説明とさせていただきます。

本日、平成29年第4回嬉野市議会定例会の開会に当たり、議員の皆様の日ごろの御活動、御活躍に敬意をあらわしますとともに、本市行政に対します御尽力と、御支援、御協力に厚く御礼を申し上げます。

現在の我が国の経済状態は、好調な輸出等に支えられて企業収益も上がってきており、雇用情勢の改善や雇用者所得の上昇も見られるようでございます。今後の展望を見ましても、実質GDPは引き続きプラスで推移していくものと予想されています。

嬉野市においては、観光のお客様も関係者の皆様の御努力により増加傾向にあり、市街地も活性化しつつございます。

さて、甚大な被害をもたらしました九州北部豪雨から約5カ月が経過いたしました。改めて心から亡くなられた方へお悔やみを申し上げますとともに、被災された方々へのお見舞いを申し上げます。現在、復旧・復興事業が進められていますが、一日でも早く被災前の生活に戻れますよう心より御祈念を申し上げます。

今後も引き続き、東北地方や熊本県に対する職員派遣を含めた支援や、その他嬉野市として可能な支援を続けてまいりたいと考えております。

先ほど議長から御発言をいただきましたように、11月20日、東京都で開催されました地方自治法施行70周年記念式典に出席いたしました。その中で、地方自治功労団体の部で本市が総務大臣表彰を受賞いたしました。「人にやさしいまちづくり」を合い言葉に、子育て支援、定住促進、産業振興、新幹線開通を見据えたまちづくりなど、これまでの市政を評価いただいたものと思っております。今後も市民の皆様の安全・安心な生活と嬉野市に住んでよかったと思ってもらえるような施策を続けてまいりたいと考えております。加えまして、温泉総選挙実行委員会におかれましては、このたび嬉野温泉が温泉あったか街づくり賞に内定をしたというお知らせをいただいたところでございまして、民間の方々と行政との連携により、まちづくりが評価していただいたとお聞きしているところでございます。議員の皆様におかれましても、市政発展のため、今後も引き続き御指導、御鞭撻のほどをよろしくお願いいたします。

さて、嬉野市の新たな取り組みといたしまして、嬉野市役所の消防車両を除き、各地域のコミュニティ車両も含め全ての公用車84台にドライブレコーダーを設置いたしました。ドライブレコーダー設置を広く周知することにより、「職員の安全運転の向上」、「交通事故等における責任の明確化及び処理の迅速化」、「犯罪抑止力の強化」を図ることを目的としています。

また、市役所みずからドライブレコーダーを設置することにより、市民の皆様を初め多くのドライバーへ普及が促進され、交通安全への意識の醸成、ひいては市民の皆様の安全・安心につながることを心より願っているところでございます。

さらに、佐賀県は人口10万人あたりの交通人身事故件数が長年ワースト1位となっておりますが、嬉野市の取り組みが県内全体へ波及し、ワースト1位からの脱却につながればと願っているところでございます。

10月8日、石垣地区において、11月23日の秋の新嘗祭に献上されたお米の「抜穂式」がとり行われました。5月3日の「播種式」、6月4日の「御田植式」に続きとり行われたところでございます。式では、秋晴れのもと、地域の皆様や関係者の方々が見守る中、佐賀県代表の献穀者でございます石垣地区の吉牟田十郎様を初め、地元の子どもたちにより刈り取りが行われました。嬉野市で献上米がつくられるのは23年ぶりとなります。ことしは病害虫の被害等が心配されていましたが、適切な管理のもと、立派に稲穂を実らせていただきました。10月26日、秋の新嘗祭用に皇居へ献納していただきました。全ての関係者の皆様に厚く御礼を申し上げます。

次に、11月10日から12日までの3日間にわたり、「嬉野デザインウィーク2017」を開催いたしました。地域愛を育むことや、地方創生などを目的に昨年に引き続き開催したところです。初日の嬉野会議では、市内で活躍する旅館やお茶、焼き物の若手メンバーと小山薫堂氏との間で、嬉野の魅力とこれからのためのトークショーを開催いたしました。そのほかに

も、温泉公園で行いました佐賀県ゆかりのアーティストと弘前市のアーティストによる「音話祭」や、和装に着がえた出演者らが音楽を奏でながら街を練り歩く「嬉野ピーヒャラ」などを行い、大いに盛り上がった3日間となりました。

このように、嬉野市全体から歓声が聞こえ、市民の皆様が笑顔で、活気にあふれる嬉野市となるような施策を今後も続けてまいりたいと考えております。

さて、今議会は任期最後の定例議会となりますので、一言御礼を申し上げます。

今回の任期中にはさまざまな課題がありましたが、市民の皆様と市議会議員の皆様の御理解、御支援をいただき成果を上げることができました。

地方創生、社会資本整備など新規事業への取り組み、各地域コミュニティ組織による地域防災の推進、学校教育・スポーツ・文化面の充実、中でも教育では県下でも高評価を受ける充実、最多の海外観光客による観光振興、海外輸出などによる、うれしの茶、肥前吉田焼、嬉野産清酒などブランド力も向上いたし、次の嬉野市の皆様のために輝く未来を引き継ぐことになりました。

新幹線嬉野温泉駅の開業、東京オリンピック、パラリンピックの開催、2回目の佐賀国体の開催など国内外からの期待が嬉野市に寄せられているところでございます。

加えて、合併以前から2町の課題でございました嬉野市の財政力でございますが、おかげさまで投資を続けながらも、一般会計部門で約72億円の基金と、公営事業会計部門水道事業会計の利益剰余金約6億円を合わせて、約78億円を引き継ぐこととなります。次世代への資源として有効利用されるよう期待するとともに、引き続き効率的で積極的な市政が展開されることを楽しみにいたしてまいります。

嬉野市が誕生いたしましてから、第2回目の総合計画が間もなく始まります。皆様の御努力により嬉野市がますます発展されるよう御期待申し上げます。

私は退任後も一市民の立場で嬉野市の将来のために微力を尽くさせていただくことをお約束させていただき、長年の御指導、御鞭撻、御支援のお礼とさせていただきたいと思っております。

それでは、今定例会に提出いたしました議案につきまして、その概要を御説明申し上げます。

提出案件は、報告4件、条例の制定2点、条例の一部改正5件、指定管理者の指定3件、補正予算10件、建設工事請負契約の締結3件、議会の同意に係るもの1件の全部で28件について御審議をお願いするものでございます。

まず、条例の制定につきましては、建設中のうれしの茶交流館の運営に関するもの、農業委員会等に関する法律の一部改正に伴い農業委員会委員等の定数に係るものでございます。条例の一部改正につきましては、公営住宅法施行令の一部改正に伴い市営住宅条例を改正するもの、市営キャンプ場の建てかえに伴い使用料等を改正するもの、特別職の国家公務員の手当に準じて期末手当を改正するもの、県の人事委員会からの勧告による給与改定に伴い関

係条例の一部改正を行うものでございます。

指定管理者の指定につきましては、嬉野老人福祉センター、いきいきデイサービス「湯っくらーと」、志田焼の里博物館の3施設について、指定管理者の指定期間が平成30年3月31日で満了となるため、再度指定をお願いいたしたく御審議をお願いするものでございます。

次に、補正予算関係でございますが、一般会計、特別会計及び水道事業会計の10件を提案いたしております。

まず、議案第76号「平成29年度嬉野市一般会計補正予算（第4号）」について御説明申し上げます。

歳入歳出それぞれ8億7,740万4,000円を追加し、補正後の予算総額を164億6,136万2,000円とするものでございます。

ふるさと応援寄附金の増額及び前年度からの繰越金が確定しましたので、それに関連する歳入歳出の予算措置が主なものとなっております。

職員給与費については、県の人事委員会からの勧告による給与改定及び人事異動に伴う予算費目間での調整等を行っております。

主な事業といたしましては、住宅建設着工件数の増加に伴い定住促進奨励金を1,000万円増額、障がい者福祉ではサービス利用の増加により扶助費を1,678万6,000円の増額、児童福祉においても障がい児保育事業の利用者の増加に伴い委託料を604万4,000円増額補正を行っております。また、来年4月に開館を予定しておりますうれしの茶交流館のPR費用として85万円を計上いたしております。

その他、各事業の前年度の国県補助事業等の精算に係る償還金の計上も行っておるところでございます。

次に、議案第77号「平成29年度嬉野市国民健康保険特別会計補正予算（第4号）」について御説明を申し上げます。

今回は、各種交付金等の確定に伴う財源内訳補正及び職員の人事異動に伴う人件費の補正が主なものとなっております。

次に、議案第78号「平成29年度嬉野市後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）」について御説明申し上げます。

歳入予算に繰越金を計上し、その繰越金について広域連合へ納付すべき額と一般会計へ繰り戻す額に分けて歳出予算を計上いたしております。

次に、議案第79号「平成29年度嬉野市農業集落排水特別会計補正予算（第2号）」について御説明申し上げます。

歳入予算に前年度繰越金を計上し、職員手当等への充当残額について一般会計繰入金で調整を行うものでございます。

次に、議案第80号「平成29年度嬉野都市計画下水道事業嬉野市公共下水道事業費特別会計

補正予算（第2号）」について御説明申し上げます。

前年度繰越金の確定による歳入歳出関連予算に加え、第8区画整理事業の進捗に伴い、舗装復旧事業費を1,000万円増額しております。

次に、議案第81号「平成29年度嬉野市浄化槽特別会計補正予算（第1号）」について御説明申し上げます。

歳入予算に前年度繰越金及び消費税還付金を計上し、職員手当等への充当残額について一般会計繰入金で調整を行っております。

次に、議案第82号「平成29年度嬉野市嬉野都市計画事業嬉野第七土地地区画整理事業費特別会計補正予算（第1号）」及び議案第83号「平成29年度嬉野市嬉野都市計画事業嬉野第八土地地区画整理事業費特別会計補正予算（第1号）」並びに議案第84号「平成29年度嬉野市嬉野都市計画事業嬉野温泉駅周辺土地地区画整理事業費特別会計補正予算（第3号）」について御説明申し上げます。

歳入予算に前年度繰越金を計上し、歳出予算は第七区画整理事業費では一般会計繰出金への計上、駅周辺土地地区画整理事業費では人事異動に伴う職員人件費の増額補正を行っております。

最後に、議案第85号「平成29年度嬉野市水道事業会計補正予算（第2号）」について御説明申し上げます。

今年度、簡易水道の統合事業が完了するに当たり、ポンプ等の製品検査など必要経費の増額補正を行っております。

以上、議案第76号から第85号までの補正予算について、簡単ではございますが、提案理由の説明とさせていただきます。

その他、嬉野市総合体育館・うれしの市民センター建設に係る建設工事請負契約の締結等について、地方自治法等の規定に基づき、議会の議決を求めるものでございます。

以上で、本議会に提案いたしました議案28件についての概要説明を終わりますが、各議案の詳細な内容につきましては、担当課長から説明させますので、何とぞ慎重な御審議をお願い申し上げます。

まとめになりますが、今議会では13名の議員の皆様より一般質問をお受けいたしておりますので、真摯にお答え申し上げたいと思いますので、よろしくお願い申し上げます。

以上で、提案理由の説明とさせていただきます。よろしくお願いいたします。

○議長（田口好秋君）

これで提案理由の説明を終わります。

お諮りします。議案第66号から議案第89号までの24件につきましては、委員会付託を省略したいと思っております。これに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

異議なしと認めます。よって、議案第66号から議案第89号までの24件につきましては、委員会付託を省略することに決定いたしました。

日程第28. 委員長報告を議題といたします。

閉会中、各常任委員会に付託しておりました調査事件について、各委員長に報告を求めます。

まず、文教福祉常任委員会の付託事件、民生委員問題について報告を求めます。山口忠孝 文教福祉常任委員長。

○文教福祉常任委員長（山口忠孝君）

それでは、文教福祉常任委員会報告書を報告いたします。

平成29年9月議会において付託された下記事件の調査結果を、嬉野市議会会議規則第107条の規定により報告する。

付託事件名、民生委員問題について。

調査の目的。

民生委員・児童委員の活動は、社会奉仕の精神をもって、地域住民の相談や援助を行う社会福祉の増進に寄与していることは言うまでもなく、その重要性は増すばかりである。一方で、負担の重さが課題となり民生委員・児童委員のなり手が見つからない地区や時期が、本市でも出てきている。くしくも、ことしはこの民生委員制度が創設されて100周年を迎え、記念すべき年である。

このような中、当委員会では、民生委員・児童委員活動を行政側から積極的に支援する取り組みをして注目されている大分市に足を運び、その実践の内容について調査研修を行った。

調査の概要について、大分市民生委員児童委員庁内サポート体制について。

調査日、平成29年10月23日。

場所、大分県大分市役所。

応対者は、大分市福祉保健部福祉保健課、課長、渡邊武明氏、参事、朝来野浩氏、主任、和田宏氏。それと、大分市民生委員児童委員協議会、副会長、廣瀬惇子氏、同じく副会長、津高教子氏。以上のメンバーでございます。

内容につきましては、以下、記しておりますので、後だって御参照ください。

それでは、委員会の意見を述べたいと思います。

大分市が作成されている「大分市民生委員児童委員活動の目安と考え方Q&A」の冊子には、私たち議員全員から感嘆の声が聞かれるくらいわかりやすく、現場の民生委員・児童委員の声に応える形で記述しており、素晴らしい内容であった。

「民生委員児童委員活動の手引」という正式な分厚い冊子があり、詳細な説明がなされているが、行政用語で書かれており読破するだけでも大変で、内容を理解するのも難しい気がする。いざ現場で問題に遭遇したときに、どのように対処したらいいのか、どこに、誰に相

談しているのかと困ったときには、このQ&Aは大変役に立つのではないかと感じた。

また、支援担当者との連絡がとれるように携帯電話番号を交換しているとのことだが、いつでも相談に対応しますよという体制は、民生委員・児童委員には心強い支えになっているようだ。実際は、夜間や休日の連絡はほとんどなく、平日に連絡があるそうである。

民生委員・児童委員の方へも、私たち議員が地元で聞いている民生委員・児童委員の悩みや問題点をぶつけてみた。両氏は、長年経験されたベテランの方であり、活動に生きがいを感じ、活動を通じて横のつながりが広がっていくことに喜びを感じておられ、自分がまさに社会の役に立っているというボランティアの精神にあふれておられ、民生委員・児童委員活動は本人だけの問題ではなく、自治会や住民、行政など、それらを取り巻く環境、社会の問題であると考えさせられた。

ただ、大分市でも民生委員・児童委員の欠員が18人出ている。このことについては担当課長も率直に認め、各自治会でも民生委員・児童委員に対する理解に温度差があり、担当職員が現場に出向き理解を得られるように努力しているとのことだった。いずれにせよ、民生委員・児童委員活動が誰でもできるような体制や雰囲気づくりが必要であり、行政の支援としての大分市の取り組みは、本市でも取り入れるに十分値すると思われる。

蛇足になるが、本日出席された民生委員児童委員協議会の方から、「現場の民生委員・児童委員の方々の視察はこれまでよく受けてきたが、議会からの視察は初めてです。ぜひ民生委員・児童委員活動に理解を示し、議会から物を申してください」と叱咤激励されたところでありました。

以上です。

○議長（田口好秋君）

ただいまの報告に対して質疑はありませんか。辻浩一議員。

○6番（辻 浩一君）

それでは、お尋ね申し上げます。

一番最初のところで、「行政としてのバックアップ体制について検討を始めた。」というふうに書いてありますけれども、それ以降にずっと書いてあるのが具体例だと、そのことだと思いますけれども、具体的に特に力を入れているようなところのお話があったら、お聞かせいただきたいと思いますけど。

○議長（田口好秋君）

山口忠孝文教福祉常任委員長。

○文教福祉常任委員長（山口忠孝君）

委員の意見の中でも申しましたように、冊子を具体的に、わかりやすいやつをつくってあって、それを全民生委員の方に配付して、もし困ったときは、いろんな方法で行政のほうに専門の担当者を置いて対応するように、いつでも、24時間体制で、そういう形で対応してい

るということでした。

○議長（田口好秋君）

ほかに質疑ございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

質疑なしと認めます。これで質疑を終わります。

お諮りいたします。本件については、ただいまの報告のとおり了承したいと思えます。これに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

異議なしと認めます。民生委員問題については、報告のとおり了承することに決定いたしました。

次に、産業建設常任委員会の付託事件、道路整備に関することについて報告を求めます。大島恒典産業建設常任委員長。

○産業建設常任委員長（大島恒典君）

皆さんおはようございます。それでは、産業建設常任委員会から報告いたしたいと思えます。

平成29年9月議会において付託された下記事件の調査結果を、嬉野市議会会議規則第107条の規定により報告する。

付託事件名、道路整備に関することについて。

調査理由といたしまして、現在、国土交通省や経済産業省主導による自動運転サービスの実証試験が全国各地において行われている。道路状況や周辺環境において嬉野市での可能性について調査を行うこととした。

調査の概要、道の駅「芦北でこぼん」を拠点とした自動運転サービス。

調査日は、平成29年10月16日。

調査場所は、芦北町役場内及び自動運転走行ルートであります。

応対者は、芦北町企画財政課、課長、一丸喜八郎氏、企画財政課政策推進室、室長、溝俣圭一氏、企画財政課、鶴田裕之氏であります。

芦北町の概要及び交通状況であります。

熊本県の南部に位置し、標高200メートルから900メートル前後の山々が連続しており、平地が少なく、山林が約80%を占める中山間地である。人口は1万7,661人で高齢化率が高く、免許保有者が減少しており、地域の交通手段の確保が求められている。町では、廃止された民間路線バスにかわる交通機関として「ふれあいツクールバス」を7路線で運行しており、タクシー事業者が廃業した地区においては5月から社会実験としてタクシー待機所を設置、10月からは山間地など、公共交通がない交通空白地帯に「乗り合いワゴン」の実証実験を開始されている。今後、さらなる高齢化や人口減少が予測され、集落機能の低下や高齢者の運

転免許証返納などに対し、地域公共交通の果たす役割は重要であり、今後の施策を展開していくために、芦北町地域交通計画の策定を平成30年度に策定するとのことである。

実証実験であります。

道の駅芦北でこぼんを拠点として自動運転サービス実証実験が10月1日から7日にかけて町内で行われた。この実験は国土交通省が全国で5カ所の道の駅を指定して行うもので、西日本初の公道での実験となっている。

自動運転車は道路に埋められた電磁誘導線をたどり、前方につけられたカメラで障害物を認識すると自動停止する仕組みである。道の駅から社会教育センター、病院前などを経由し、役場までを1日6往復で行われた。実験では運転手も乗車するが、自動運転区間ではハンドルやブレーキの操作は行わず、安全確認と緊急回避の操作のみ行った。途中、人や車の通行を禁止した400メートルの実験専用道では、運転手が助手席に移動、運転席は無人のまま実証実験が行われた。

資料として、自動運転のレベル、そして、実証実験の経緯をつけております。

委員会の意見です。

自動運転については、交通事故の削減、少子・高齢化による公共交通の衰退などへの対応、渋滞の緩和、国際競争力の強化などの観点から官民一体となった開発が続いている。今回、芦北町では公道を使用しての実験であり、町内の条件が異なる公道を利用して実験が行われ、町内から約100名のモニターを募り検証がされている。広い公道や車両進入が少ない河川敷の走行ルートは比較的取り組みやすいと感じたが、狭い市街地の道路や植栽などが生い茂った場所での走行には課題が多いように感じた。新たな公共交通の担い手として自動走行運転が今後地方にとって重要であり、注視していく必要もある。加えて、今後の道路整備のあり方においても自動走行運転を視野に入れた計画が必要である。

翌日、17日には熊本の震災により大変な被害を受けた西原村を訪問した。西原村には当市の職員も派遣されており激励も兼ねての訪問であった。村内にはまだ仮設住宅が建ち並んでおり、被害が大きかった地区にも案内していただいたが、まだまだ復旧は道半ばという感じであった。議会人として直接支援できることは限られているが、あの災害を風化させず被災地に寄り添い、また、それを教訓として、我がまちの安全・安心のために努力していくことが務めと感じたところであった。

以上であります。

○議長（田口好秋君）

ただいまの報告に対して質疑ありませんか。梶原議員。

○13番（梶原睦也君）

自動運転のことで調査されたということでもありますけれども、今、自動運転はメーカーも含めて今後普及していくと思っておりますけれども、最大の課題が、事故等があった場合の

責任はどこにあるのかという、ここら辺について今課題があるというふうに報道等でありますけれども、今回の視察でそういった意見交換はされたのかどうか、これについてお伺いしたいと思います。

○議長（田口好秋君）

お願いします。

○産業建設常任委員長（大島恒典君）

今回の視察で、その法的な整備の面までは聞いておりません。立ち入ったことは聞いておりません。ただ、全国で初めて西九州で、公道での試験ということで、公道の道に対してどういう助言のいいか悪いか、そこら辺を見てきたところで、そこまでは今回の調査では行っておりません。

以上です。

○議長（田口好秋君）

ほかにありませんか。山口要議員。

○17番（山口 要君）

今、梶原議員からも御質問があってございましたけれども、これは委員長というか、執行部に対して、このことについては、今後、今、新幹線等で検討が進められておりますけれども、そこら辺については早目に検討しておく必要があるということをもまず前提に申し上げながら、これ、委員会の意見として自動走行運転を視野に入れた計画というのは、これは芦北町地域交通計画というものを、ある意味では指しておられるのか、どのようなものを指しておられるのかということと、もう一つ、これは視察の中で嬉野市としての可能性について調査を行うこととしたというふうなことで視察に行かれているわけでありましてけれども、その視察された結果、その可能性と、嬉野市の可能性ということについて、どのようにお感じになったのかということ、その2点だけを、ごくごく簡単に結構ですので、お答えをいただきたいと思います。

○議長（田口好秋君）

大島産業建設常任委員長。

○産業建設常任委員長（大島恒典君）

前段の地域公共交通の中に含まれるのかというお話ですけれども、そういったことも含めて、私たち見てきたわけです。

そして——何やったのですかね。（「可能性ということについてどのようにお感じになられましたか」と呼ぶ者あり）嬉野についての可能性ですけれども、まず、私たちは今、新幹線の新しい駅ができております。そういったところで、市街地、観光地ルートができないかということで、今回、実証試験を見てきたわけですけれども、芦北町の状況を見ておりますと、旧市街地を通るとき、幅員が狭い道路ではなかなか追い越しもできない——追い越しができ

ないというか、離合もできないといった面で大分苦労されております。そして、夏場の草木の繁茂期ですね、そういったときに生け垣とか、町なかに生け垣があったり、草木が生えているところは、センサーが反応して自動運転がやりにくいということで、そこら辺を考慮に入れて、今から市内の公道の整備については考えていくべきではないかということを感じたところでもあります。嬉野に当てはめますと、なかなか狭いところもありますけれども、植栽関係あたりも考えて、今から計画していく必要があると思っております。

以上です。

○議長（田口好秋君）

ほかに質疑ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

質疑なしと認めます。これで質疑を終わります。

お諮りいたします。本件については、ただいまの報告のとおり了承したいと思います。これに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

異議なしと認めます。よって、道路整備に関することについては報告のとおり了承することに決定いたしました。

以上で本日の日程は全部終了いたしました。

本日はこれで散会いたします。

午前10時42分 散会